

或本の歌

五六番

河上の つらつら櫓 つらつらに 見れども飽
かず 巨勢の春野は

二年壬寅、太上天皇、参河国に幸す時の歌

五七番

引馬野に にほふ榛原 入り乱れ 衣にほはせ
旅のしるしに

五八番

いづくにか 舟泊てすらむ 安礼の崎 漕ぎたみ
行きし 棚なし小舟